

# 京都教区時報

## 特集一 ゆるしの秘跡

第58号

発行所

京都市中京区河原町三条  
カトリック京都司教区  
広報室(Tel 211-3768)  
編集責任者 村上透磨  
編集部 教理センター  
田中司教認可

## クリスマスメッセージ

—幼子イエズスに謙虚に心を開きましょう—

京都司教

ライムンド

田中 健一

クリスマスが近づいて参りました。今回は特にこの佳き記念日を、例年よりより真剣に、より喰みしめて心の底からお迎えしなければならないような誘いを感じるのは私一人なのでしょうか。そのわけは二、三ヶ月前に二度も突然な「教皇交代」という大きなショック療法を受けたからでしょうか。

神は世の初めから、私たち人類と計り知れない関わりをもつて下さっています。しかし目に見える形で、ダメ押しのように人類の歴史の中に御独子を受肉させ、ご自分の愛の関わり合いを決定的にお示し下さったスタートポイントがクリスマス、即ち救い主イエズス・キリストの誕生だと思います。

「キリストは神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思はず、かえつて自分自身を無にして僕の身分となり、人間と同じものになられた。云々(フィリップ2の6)」という聖書のみことばを反射的に思ひ浮べます。

激変の現代社会はひどく病んでいると思います。先進国の近代化は沢山のプラスをもたらしましたがマイナスも同様であります。新世界の到来で植民地からの解放と発展、人権の確立というすばらしい方向に進んでいます。何處にも不本意ながら自己絶対化の苦悶に人類は悩んでおります。結局心の問題だと思います。

クリスマスが近づいて参りました。今回は特にこの佳き記念日を、例年よりより真剣に、より喰みしめて心の底からお迎えしなければならないような誘いを感じるのは私一人なのでしょうか。そのわけは二、三ヶ月前に二度も突然な「教皇交代」という大きなショック療法を受けたからでしょうか。

神は世の初めから、私たち人類と計り知れない関わりをもつて下さっています。しかし目に見える形で、ダメ押しのように人類の歴史の中に御独子を受肉させ、ご自分の愛の関わり合いを決定的にお示し下さったスタートポイントがクリスマス、即ち救い主イエズス・キリストの誕生だと思います。

「キリストは神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思はず、かえつて自分自身を無にして僕の身分となり、人間と同じものになられた。云々(フィリップ2の6)」という聖書のみことばを反射的に思ひ浮べます。

激変の現代社会はひどく病んでいると思います。先進国の近代化は沢山のプラスをもたらしましたがマイナスも同様であります。新世界の到来で植民地からの解放と発展、人権の確立というすばらしい方向に進んでいます。何處にも不本意ながら自己絶対化の苦悶に人類は悩んでおります。結局心の問題だと思います。

それだけに私たちは、信じさせて頂いているカトリック信仰をより正しく、より深く、より巾広く受けとめさせて頂き、その信仰の招きに清い心をもつて誠実に応えていかなければならぬと痛感いたします。それなしに選びの意味も不可解となり、旅する神の民(教会)も無用の長物と云われるのでないかと恐れます。幼子イエズスに心を開いて、みことばの力を乞い願いましょう。

△十一月十九日(日)  
親交会 於・西院教会  
△十一月二十三日(木)  
園部教会二十五周年祝賀会  
△十一月二十六日(木)  
堅信式 於・伊勢教会  
△十一月二十七日(金)  
司祭の自由な集まり 於・北白川教会  
△十一月二十八日(火)~三十日(木)  
東京カトリック神学院五十周年祝賀会  
△十一月二十九日(金)  
司教協議会臨時総会 於・長崎  
△十二月五日(火)  
午後一時  
教区内カトリック保育園関係者の集い  
於・カトリック会館六階

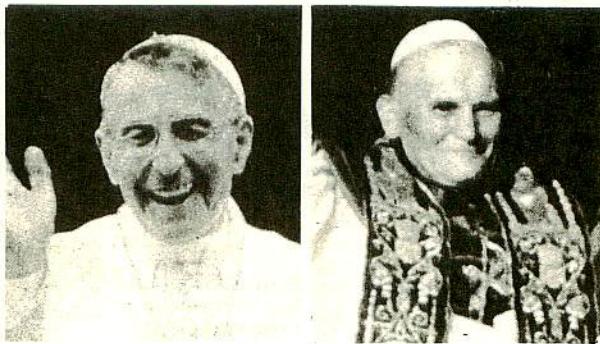
## 教区短信



- △十一月十日(日)  
堅信式 於・四日市教会
- △十一月四日(木)  
午前十一時  
教区内司祭・修道士懇親会  
於・カトリック会館
- △十一月八日(木)  
午前十時  
ノートルダム教育修道女会誓願式
- △十一月六日(木)  
午後三時  
司祭評議会定例会議  
於・カトリック会館
- △十一月十五日(木)  
午後一時半  
教会学校教師研修会 講師・浜尾司教  
於・カトリック会館六階

# 教皇にボーランド人 ヨハネ・パウロ二世

カロル・ウォイティワ枢機卿



故教皇ヨハネ・パウロ1世

新教皇ヨハネ・パウロ2世

四日でした」と云われる位、多くの働きと影響を与えた。パパ・ルチアーニの教皇選出と其後の動向については九月十日付のカトリック新聞から十月一日にかけてくわしく書かれているので、御覧いたゞきたい。そして九月二十九日、テレビやラジオは一せいにヨハネ・パウロ一世の突然の死を告げ、すべての人々に、一瞬疑いと驚きをもたらした事は記憶に新しい。(時報としては今号にパパ・ルチアーニの記事を載せるつもりでいた)人間の思いと神の計画は新しい驚きと賞讃を全世界にまき起こす事となつた。

無名であつたが、とても庶民的な教皇に統いて、今度は永い伝統をつきやぶりしかも、昔流に云えは鉄のカーテンのかなたから新しい牧者が全世界の教徒の牧者として、日本時間十七日、ヨハネ・パウロ二世として、ボーランド人、クリスチヤン信徒は奇しくも三人の教皇に接する事になつた。パウロ六世、ヨハネ・パウロ一世、並びに同一一世である。

二人の教皇に共通な点は、その庶民性にある。これは一つの時のしかも知れない。神は民の代表者達を通じ、現代にさわやかな微笑みを残して去つて行かれた。わずか三十四日の在位であった。本当に短かい在位期間とは云え、「パパ・ルチアーニは一年間の仕事をたつた三十

の教会に入々と共に歩む指導者を要求されたのかも知れない。ヨハネ二十三世によつてはじめられた新しい教会の息吹きは、パウロ六世、ヨハネ・パウロ一世そして現教皇を受け継がれた様である。

両教皇は更に、三重冠をいただく莊厳な戴冠式を止め、登位ミサによつて、ペトロの後継者の位置につかれた。こ、にお二人の共通するお人柄がうかがえる。

但しこの事は前教皇パウロ六世を、批判するものであつてはならない。パパ・モンティーニは教皇登位以後一度と使われなかつた。聞く所によると、その高価な三重冠を慈善事業に寄附するために、処分されたそうである。

社会はますます複雑化し、多くの問題をかかえて新教皇の前途は多難であり、まさにカルワリオの道であろう。私達はばかり知れぬ御摶理によつて、すばらしに心から祈りと犠牲と忠誠とを尽し、協力一致して、愛と救いの共同体である

教会建設にはげみたいものである。

対外的には然し宗教的自由、人格の尊厳、自由の尊重、平等な対遇改善等の社会参加に寄与する事を旨とすると語られた。但し多くの人々は、共産主義に対する政治的貢献を期待するであろうが、それが第一の対象とはならず、あくまで教会自身の再確認と云う事からはじめられる様である。

新教皇はコンクラベ(教皇選舉会)終了を記念するミサの後、所信を表明され、第一バチカン公會議の諸規範の適用を「慎重かつ大胆な行動をもつて」促進すると述べられ、特に教会論と教道権に重点を置くと云われた。ナチ及び共産主義の圧迫の中で耐えねいたこの不死鳥の教皇は、教会とその教義に対する忠誠を

新教皇所信声明

新教皇はコンクラベ(教皇選舉会)58才が与えられた。カトリック新聞は、教皇を労働者の枢機卿として紹介している。ヨハネ・パウロ二世として、ボーランド人、クリスチヤン信徒は奇しくも三人の教皇に接する事になつた。パウロ六世、ヨハネ・パウロ一世、並びに同一一世である。

二人の教皇に共通な点は、その庶民性にある。これは一つの時のしかも知れない。神は民の代表者達を通じ、現代にさわやかな微笑みを残して去つて行かれた。わずか三十四日の在位であった。本当に短かい在位期間とは云え、「パパ・ルチアーニは一年間の仕事をたつた三十



ヨハネ・パウロ1世と共に

## 研修の秋

## \*「社会と教会」司祭研修会

## \*日本の教会のビジョンを共につくる集い

前者は社会司教委員会主催で9月11日より三泊四日で熱海ビレッジを会場に、後者は日本宣教司牧センター主催で10月9日から三泊四日で横浜戸塚の聖母の園

黙想の家で、それぞれ司教、司祭あわせて約50名が参加して熱心な研究を行われた。この研修を通して、前者では「福音は社会とのかかわりにおいて受けとめられなければならない」という社会意識の向上を確認(詳細はカトリック新聞10月1日号参照)

後者においては、日本の教会は、次の三点の条件を持つべきであることを確認した。

十月七日夜より十月十日昼まで、京都カトリック会館にて、第四回カトリック正義と平和協議会全国会議が開かれた。日本全国から、社会のいろんな問題に出会い思考、キリストと共に取り組もうとしている人、約一二〇名が集つた。現在正平協は、

## 報告

## カトリック・平・協・全国会議

から報告された。この事実は私達一人一人と決して無関係ではないであろう。

これらの各担当者からの報告を聞きながら、現在の日本の現状がいかに多くの

(1)社会を福音化する教会である。

(2)その使命を全うするために自らを絶えず福音化する。

(3)又、このことの意識を更に深め広めることが必要である。

(詳細はカトリック新聞10月29日号で)なお京都教区からも田中司教以下数名の司祭が参加した。

## 司祭有志の会

## —京都教区—

この会は「司祭の自由な集まり」と呼ばれ、今まで七回の集いを持った。その名のとおり参加はまったく自由! 目的

反福音的要素を含んでいたかに改めて氣づかれた。会議三日目は部落問題を正義と平和協議会全国会議が開かれた。全員で学習した。部落差別が江戸時代に政策的に作られ、それは現在においても、人の心の中だけでなく、社会の中に現実に存続していることが数人のレポーター

毎月、最終月曜日の午後三時頃から集まり、分かちあいの後、歓談、夕食を共にして終る。一人でも多くの「自由な」参加を望んでいる。

(文責 松本秀友)

で考え、共に回心を祈りあつた。このための第一歩を踏み出すのは、今自分が乗つている「ロバ」から降りて周囲をもつとしつかり見つめること、そして聞き耳を立て、周囲から教えてもらい、その中に受け入れてもらうことから始まるので

に受け入れてもらうことから始まるのでし合ひ、そのようにやつてみよう

シスターは一九〇四年二月二十八日に生まれ、東京雙葉高女卒業後、農林省官吏であつた父君の赴任地韓国からメリノール女子修道会へ入会。和服、袴に編上げ靴といった姿で同修道会本部に渡つて以来、韓国、満州、中国の各宣教地で活躍。更に満洲から引揚げ後は京都教区内の各地メリノール修道院で信者、未信者を問わず、広くキリストのきょうだいとして知己をひろめた。シスターの温厚な人格に触れて修道者としての召命を得た人々は三十数名にものぼると聞く。メリノール会はもとより多くの人々からもその死を悼まれている。

・R.A.ウォルシュ氏

氏は大和高田教会主任、J.ウォルシュの嚴父、9月5日享年79歳で病氣のため逝去された。ウォルシュ神父は、病氣見舞のため帰國されており、嚴父の最後を見取ることができたのは幸いである。

は同じ教区に働く司祭同志のつながりを深めるということで、日頃仕事に追われて忙しい司祭達の交わりの場になればと願っている。発起人は若手司祭(必ずしも年令が若いという意味ではない?)数名で、教区共同体作りを念願にしている。今まで毎回10名から20名の参加があるが、広い交わりを目指し、京都市内だけではなく、京都北部、滋賀、奈良、三重各県でも一回ずつ集いを持つた。毎回話の担当者をきめ、各司祭が特に力を入れてしている活動や担当している仕事の体験を話してもらい、皆で分かちあう。

## ・シスターM・サビナ・中村

去る9月28日、メリノール女子修道会員、シスターM・サビナは京都松ヶ崎修道院で修道生活五十年を静かに閉じ帰天。享年74才。



## 永遠の安らぎを!

Sr. M. サビナ逝く

**京都司教区**  
**カトリック信徒連絡**

**協議会（仮称）**  
**結成準備委員会発足**

11月12日、三重県四日市教会において田中司教のメッセージをいただき、村上司教総代理の御出席を得て、第四回京都司教区信徒合同ブロック会議（三重・藤井（敬称略）滋賀・井上、奈良・岩井（書面参加）、京都北部・伊藤、京都南部・高橋代理）が三重県下全小教区代表の参加のもとに開かれた。朝十時ミサに始まり、午後四時聖体降福式まで昼食を中心に、延々六時間有余、今までの経過、各ブロックの動き、今後の活動と討議され教区信徒連合会の必要性が強く呼ばれた。この早期実現をめざし準備委員会を発足させ、教区共同体一致の日にむけて、教区全体として何をしたらよいのか打診検討し、教区活動としてアピールすることになった。（文責、京都南信連篠原）



**未来の  
教会の  
ダイジョン**

秋も深まつた10月最後の日曜日、生憎の雨の中を30名程のシスター、信徒たちが集り佐々木師の講演を熱心に聞いた。佐々木師はまづこれらの宣教は、個々のキリスト者としての生き方が基礎となる

のであるから、個々の靈的な刷新が必要であり、信仰の見直しを訴えられた。証しは捷にしばられた模範的な生き方によるより、キリストの生命をいきいきと生き、キリストとの出会いの体験を持つこと、そうすれば自づから日々証しができると説かれた。次に共同体の見直しを力説された。共同体を支える三本の柱は、司教区信徒合同ブロック会議（三重・藤井（敬称略）滋賀・井上、奈良・岩井（書面参加）、京都北部・伊藤、京都南部・高橋代理）が三重県下全小教区代表の参加のもとに開かれた。朝十時ミサに始まり、午後四時聖体降福式まで昼食を中心に、延々六時間有余、今までの経過、各ブロックの動き、今後の活動と討議され教区信徒連合会の必要性が強く呼ばれた。この早期実現をめざし準備委員会を発足させ、教区共同体一致の日にむけて、教区全体として何をしたらよいのか打診検討し、教区活動としてアピールすることになった。（文責、京都南信連篠原）

も小さい兄弟に奉仕する④社会を福音化する⑤日本に受肉しながら⑥他の地域社会と兄弟的分かれ合いをする。このようにして日本の風土の中にキリストの受肉のわざを続けていくのである。以上佐々木師を通して受けたものを少しでも分かち合えれば幸いで、与えられた場で常にキリストの肢体としての使命感に燃えていたいものである。

新司祭の横顔

この記事を頼まれましたが、今は司祭になつたばかり、任地も未定（10月1日現在）なので具体的なことは何も申し上げることはできません。あえていうなら、み国の来たらんため主の僕として働きたい、という一言に尽きます。そのためには受けた恵みを分け合い、伝えていくことによって信仰を深めることである。本当にふえていったように、分かれ合いと議論にふえていったように、建前やきれいごとでなく、自分のみにくさもさらけ出すような本音が出て始めて深められ、それが「みことば」によつてどう変えられたかという体験を分かれ合うのである。基礎共同体は福音的刷新を目指して小教区共同体の中に生まれ、いくつかの基礎的な共同体は互いに関連を持ちながら信仰を分かれ合う“場”となっていく。基礎共同体は①の国のために②新しい役務を通して③最神の國のため④社会を福音化するため、典札を中心とする日常生活のリズムを信者が生きるように、一緒に研究し、努力していくたいと思つています。この様な事の中から聖職者への召命を感じてくれる若い人達が生まれれば幸いです。

又、一教会、一小教区という枠にこだわらず、多くの教会との連帯、交わりを通して、中広い教会意識を持ちたい。そのため、他の教会、教区、時にはシステムや信徒の方々とお互いの教会の諸問題を話し合う機会を持たなければと思います。しかし正直なところ、今の心境は、山の麓にたどりついたばかり、これから聖霊の導きの下に、この山の頂上まで登り切ることを祈りの内に願っています。



**積年の結晶**

# ついに扉は開かれた。

カトリック・プロテスチントの優れた翻訳陣による最高の知性を結集。

はじめて読む人にもよくわかる平易な、現代の言葉に翻訳●  
 キリスト教専門用語を最小限にした文章形体●  
 進歩しつつある最も新しい聖書学を駆使●  
 時代を先どりし、80年代に向けての未来への聖書!!●  
 最近の傾向に見られるようなパラフレーズではなく、原典に忠実な、信頼できる翻訳●  
 底本=聖書協会世界連盟発行・ギリシア語新約聖書●

日本聖書協会 東京都中央区銀座4-5-1 B6判 上製本 1,200円

今年は各地の教会で銀祝等のお祝いが、次々におこなわれた。それぞれの教会でいろいろな形でそのよろこびを共にした様子をひろってみよう。

## 高野教会



一九四八年マキロップ師の時代に高野教会が建立されて、今年で丁度30周年になる。教会敷地（約二四二八平方メートル）の北西部にある床延面積約三二六平方米もある木造の立派な聖堂である。

この聖堂が建立される10年前の一九三八年、この地でブリックス師が布教を始めたのが高野教会の幕あけで、バーン師が一九四〇年に現在の司祭館を建てられ、聖堂が奉獻されるまでは聖堂も兼ねて使われていた。今ではこの聖堂と、司祭館の他に伝道館二棟、受付棟の諸施設がある。又現在の主任司祭丸山師まで二十七名の司祭をむかえて、今日の高野教会に発展してきたのである。

10月29日(1)献堂記念行事として、朝九時より感謝のミサ、その後祝賀パーティに移り、食べ物コーナー、飲み物コーナー、ゲームコーナー、が設けられ、また、手芸品等の販売の他に高野教会の歴史録を印刷配布し、信者一同献堂三十周年を、心から祝つたのである。

## 山科教会

山科教会の誕生は昭和28年8月15日、メリノール会のシェバード神父が初代主任司祭として着任された時である。同年10月11日、ささやかな聖堂が献堂され、以後信徒の数も少しづつ増加、現在約200名である。主任の花井師は、同教会付属アヴェマリア幼稚園の園長もつとめ、児童のキリスト教的教育に力を入れ

いる。

去る10月8日(1)、献堂25周年記念を祝うミサが田中司教の司式で行われ、ミサ後ティバーティで、その喜びを分かちあつた。

去る10月8日(1)、献堂25周年記念を祝うミサが田中司教の司式で行われ、ミサ後ティバーティで、その喜びを分かちあつた。

のである。そして三年後の昭和28年11月23日に新しい聖堂が建てられたのを記念して、多くの人々の祝福の内に献堂式が行われた。それから25年の年月が流れ、

現在信徒226名が主任司祭浅田神父と共に、10月11日、ささやかな聖堂が献堂され、以後信徒の数も少しづつ増加、現在約200名である。主任司祭浅田神父と共に、アヴェマリア幼稚園の園長もつとめ、児童のキリスト教的教育に力を入れる。

去る10月29日(1)に田中司教をはじめ、園部ファミリーを、形作っているのである。主任の花井師は、同教会付属アヴェマリア幼稚園の園長もつとめ、児童のキリスト教的教育に力を入れる。

去る10月29日(1)に田中司教をはじめ、園部ファミリーを、形作っているのである。主任の花井師は、同教会付属アヴェマリア幼稚園の園長もつとめ、児童のキリスト教的教育に力を入れる。

## 今年の主なニュース

### —京都地区—

2月

京都教区修道女連盟発足

300余名のシスター方、神の国の建設のため特別な召命に応えて、

教区共同体作り！

4月

マンティカ師逝く

かつての「希望の家」所長、アフリカ・スレーダンで飛行機事故のため急逝。

5月

西大和カトリックセンター開設

西大和団地の人々の憩いの場として活躍！

6月

オモチャライブラー開設

心障児の短期宿泊訓練所として発足

7月

古屋司教金祝（写真）

京都教区建設の年月を善意と微笑で乗り越え、神に感謝！

8月

CCLC全国大会京都で開催

バロン師が初代主任司祭として着任した

行わされている御聖体の贊美のための聖体行列、そして生きたロザリオが行われ、式終了後、懇談会に入り25年の歩みを喜びあつた。

なお、25周年を記念して一二七ページにも及ぶ記念誌「あゆみ」が発行された。これは園部教会の歴史は、もとより京都教区の足どりをするものとして貴重な資料となるであろう。



京都教会に於ても理解の方法に心を使いましたが、すでに始めておられる河原やかにリラックスして理解し易いと判断してこの方法にしました。九条小教区五地区に十月十三日金曜日午後七時半から神父様は二週間目に一回毎金曜日にゆるしの秘跡の説明を続けておられます。この方法は好調で毎回の参加者が十二、三人あり、一家族一人の出席の実をあげております。私達が一人でも多く出席してゆるしの秘跡を正しく理解すれば、キリスト者の日常生活の不斷の刷新が行われると思います。また神の人間への偉大なる愛がキリスト者を通して社会に現われるのであります。

今までの告解が、新しく「ゆるしの秘跡」に変わることで、その説明会に出席致しました。「ゆるし」キリストにおけるゆるしとその必要性を、それぞれの神父様方が、くわしく又やさしく説明してくださいましたので、式の形が変わることには、何ら抵抗は感じませんでした。むしろ、今までよりも、もっと信仰の育成につながるものとして、とても、好ましく感じました。

しかし、とても残念なことに、その式の具体的なやり方にについての説明が、きかれませんでしたので、大かたの人々は、どうすればよいのか、とまどっていたようでした。できましたら、各教会で、もう一度、具体的な説明をいただけたらと希望致します。

(大和高田教会 平井)

告解が「ゆるしの秘跡」になり、名前がかわっただけでなく、やり方まで。どうもチップンカンパン、これじゃますますこの秘跡とコフサタになってしまふ! という方も、この特集を読めばタチドロに.....。

## 特集

どうかわかったの?

# ゆるしの秘跡

告解の秘跡がゆるしの秘跡と改定されることになり、各小教区ではその改定される内容の理解のためにそれぞれの方法が行われていると思います。

九条教会に於ても理解の方法に心を使

いましたが、すでに始めておられる河原やかにリラックスして理解し易いと判断してこの方法にしました。九条小教区五地区に十月十三日金曜日午後七時半から神父様は二週間目に一回毎金曜日にゆるしの秘跡の説明を続けておられます。この方法は好調で毎回の参加者が十二、三人あり、一家族一人の出席の実をあげておりました。私達が一人でも多く出席してゆるしの秘跡を正しく理解すれば、キリスト者の日常生活の不斷の刷新が行われると思います。また神の人間への偉大なる愛がキリスト者を通して社会に現われるのであります。

今までの告解が、新しく「ゆるしの秘跡」に変わることで、その説明会に出席致しました。「ゆるし」キリストにおけるゆるしとその必要性を、それぞれの神父様方が、くわしく又やさしく説明してくださいましたので、式の形が変わることには、何ら抵抗は感じませんでした。むしろ、今までよりも、もっと信仰の育成につながるものとして、とても、好ましく感じました。

告解を具体的にうち出したのは、第二バチカン公会議です。そのとき、「この秘跡は、その本質と効果がもつとはつきり判るよう」ことば、やりかたを変えなくてはならないと云うことが確認されました。

改革を具体的にうち出したのは、第二バチカン公会議です。そのとき、「この秘跡は、その本質と効果がもつとはつきり判るよう」ことば、やりかたを変えなくてはならないと云うことが確認されました。

でも、「この」と云はざいましたのでしあう。

第二バチカン公会議以前に出た古い力トリック要理を見ますと、「告解とは、洗礼以後に犯した罪を教会の司祭をして赦す秘跡」とあり、その説明のところ、「洗礼において人は(中略)すべての罪と、罪の罰のゆるしを得ます。のちに罪を犯した場合、そのゆるしは(中略)告解をとおして与えられます」とあります。

しかし、昔の云い方では、「この」とは正面には出ず、むしろ個人の自覚の問題とされ、秘跡自身では、殆どふれられていませんでした。

このどこがあいまいなのでしょう。

教会が絶えず回心と刷新につとめ、神の民が「福音に従って、日々一歩悔い改め世にあって神への回心のしるしと

東門陽一郎神父

(京都教区典礼委員)

新しい「ゆるしの秘跡」(本年四月発行)を見ますと、教会は「罪に対する十字の勝利を、回心の祭儀を通してあらわすよう絶えず努めて来た」(同書九頁)とあります。この勝利が、洗礼、ミサ、ゆるしの秘跡によって示される(同前)説ですが、ます、こうした大きな枠をゆるしの秘跡において見ると云うこと

が、今まで余り行われなかつたようです。

「この」で云う教会は、もちろん、司祭、信者をふくめた全共同体を指すわけです。が、個人だけではなく、全教会がかかわりを持つ秘跡としての告解、つまりゆるしの秘跡と云うことも、今まで、やや忘れられていたためではないでしょうか。

それどころか、「教会は、その懐に罪びとを抱くものとして、聖なるものであるとともに、常に清めを必要とするものであり、絶えず回心と刷新に励んでいる」(同前、十一頁。教会憲章八)のです。

しかし、昔の云い方では、「この」とは正面には出ず、むしろ個人の自覚の問題とされ、秘跡自身では、殆どふれられていませんでした。

なる」(同前十一頁)とすれば、ゆるしの秘跡には、「こうした教会との和解と云うことでも、きわめて大切な要素として含まれることになるでしょう。それは、この秘跡に近づく人びとが、自覚していかなければならないことであるはずです。この点もはつきりさせる必要がありました。

われの本質的な問題として、「キリストの國に近づくには、回心、すなわち人間全体が心の底から変るほかはない。この回心によって人は、キリストのうちに示され、豊かに与えられた神の聖性と愛に打たれて考え、判断し、生活を立て直し始める」(同前十三頁)と云うこと、そして「回心は人を内からゆり動かすものであって、人は日増しに深く照らされ、ますますキリストに似るものとなる」(全前)と云うことも、ゆるしの秘跡との關係より、むしろ修徳の問題として考えられ、秘跡に近づくものにとって事実上輕視されることが多いといったようです。

「」の考えて来ますと、罪とは古いカトリック要理が云うように、「悪い事と知りながら、自由意志をもつて神のおきてに背くこと」と云い切つてしまふことも問題になります。知らず知らずのうちに、つい何となく、神ご自身から遠ざかっているといふこともあるでしょうし、それにある時気づくことだってある。「神に逆い、神との親しい交わりを断つ」(同前十二頁)ていたことに気づくわけです。その時、「先に私達を愛して下さつ

た御父、わたしたちのために」自分を渡されたキリスト・わたしたちのうちに、「こうも、きわめて大切な要素として含まれることになるでしょう。それは、この秘跡に近づく人びとが、自覚していかなければならないことであるはずです。この点もはつきりさせる必要がありました。

われの本質的な問題として、「キリストの國に近づくには、回心、すなわち人間全体が心の底から変るほかはない。この回心によって人は、キリストのうちに示され、豊かに与えられた神の聖性と愛に打たれて考え、判断し、生活を立て直し始める」(同前十三頁)と云うこと、そして「回心は人を内からゆり動かすものであって、人は日増しに深く照らされ、ますますキリストに似るものとなる」(全前)と云うことも、ゆるしの秘跡との關係より、むしろ修徳の問題として考えられ、秘跡に近づくものにとって事実上輕視されることが多いといったようです。

大切なのは、絶えずキリストを思い、心と行いを改め、日ましによりキリストに似るものとなること、教会をとおし、教会とともに、教会において、世にあって神への回心のしとなることです。この方向を確立することが、今度の改革の理由であり、目的と云つてよいでしょう。

個別の告白だけの場合は、告白の場所にはじつて、まず、十字架のしるしをし、神への信頼をつながす司祭のみじかいことば(例えば、「回心を呼びかけておられる神の声に心を開いて下さい」)を聞きます。時闇の余裕があり、適当であれば、

また、この式の中から、個別告白、ゆるしをのぞき、回心の精神を養い、個別告白の準備、求道者の回心を助けることと目的とした、回心のためのことばの儀もすすめられています。

また、この式の中から、個別告白、ゆるしをのぞき、回心の精神を養い、個別告白の準備、求道者の回心を助けることと目的とした、回心のためのことばの儀もすすめられています。

この個別の告白の場合は、各教会にリーフレットが用意してありますから、それに従つていただけばよいわけです。ただし、前に述べた精神をよく考えていただきたいと思います。

この個別の告白の場合は、各教会にリーフレットが用意してありますから、それに従つていただけばよいわけです。ただし、前に述べた精神をよく考えていただきたいと思います。

まず、今までの個別のゆるしの式の他に、このために多くの人が集るとき、とつて、悔い改めの祈りを唱えなさい。」にこたえて、悔い改めの祈りを唱えます。今までの痛悔の祈りも使えますが、その他、聖書からとつたいくつかの美しい祈りも使えるようになりました。この祈りの手をのべ、日本語でゆるしのことばの



## 司教の足どり

(九月～十一月)



- 9月
- 17(1) 奈良新聖堂10周年堅信ミサと講演
  - 女子カルメル会境界線現地調査
  - 教区付邦人司祭例会
  - 立正佼成会40周年(大阪普門会館)
  - 希望の家第二保育所(山王保育所)
  - 21(1) 希望の家第一保育所(山王保育所)
  - 20(1) 祝別式
  - 22(1) レデンブトール会総長・同顧問と面談
  - ヨハネ横田志郎師(レデンブトール会員)司祭叙階式(西舞鶴)
  - 24(1) 小羊会(身障者信心グループ)ミサ(高野)
  - 25(1) 司祭有志の集い(津22名参加)
  - 26(1) 駐日バチカン大使館訪問(東京)
  - 世界連邦日本宗教者委(明治神宮)
  - 28(1) ミロハナ師來訪
  - Sr.サビナ(メリノール会)急逝(京都)
  - ヨハネ・パウロ一世急逝
  - 30(1) 仏国ナンシーの補佐司教来泊

- 10月
- 1(1) 故ヨハネ・パウロ一世追悼ミサ(河原町)
  - 2(1) 教区付邦人司祭懇親会(平山)
  - 3(1) 司教指導
  - 4(1) レデンブトール会カナダ管区長來訪
  - 5(1) 衣笠合同墓参
  - 6(1) 司祭評議会
- 11月
- 3(1) 長岡バザー
  - 4(1) 講演会「仏教」(河原町)
  - 5(1) 衣笠合同墓参
  - 6(1) 会費五百円

国際宗教同志会委

8(1) 山科25周年堅信ミサ

第四回正義と平和全国大会(河原町)

9(1) 全国研修会福音宣教(横浜戸塚町)

12(1) 聖母の家関係者相談会

14(1) 召命研修会(宇治)

15(1) 女子カルメル会

衣笠近隣教会合同運動会(洛星)

16(1) 新教皇ヨハネ・パウロ二世(ボーランド人)誕生

希望の家職員と会合

17(1) 教理センター理事会

精華視察

司祭評常任委代表者会

スパー師來訪

18(1) 洛星創立記念ミサ

W C R P 関西平和大学講座(大阪)

21(1) 洛星創立記念ミサ

衣笠墓地委(河原町)

22(1) 北白川堅信ミサ

23(1) 仏国テレーズのフレール來訪

24(1) 駐日バチカン大使米泊

25(1) 駐日バチカン大使大本本部(綾部・亀岡)訪問

26(1) 綾部・園部・亀岡教会にも大使ス

27(1) トップ

## 教会学校教師研修会

日時 1月28日(1)午後1時30分～4時  
場所 京都カトリック会館6階  
テーマ 「子どものための福音宣教」  
講師 浜尾文郎司教  
会費 五百円

## 桂教会学校教師研修会

日時 1月28日(1)午後1時30分～4時  
場所 桂カトリック教会  
テーマ 「福音と子ども・秘跡」  
講師 カシミロ・フェルナンデス師  
会費 五百円



綜合建築・土木  
コンクリート工事全般

**河村建設株式会社**

京都市中京区河原町通夷川上る指物町320の2  
電話(京都075)231-1137～9

タイプ・活版  
オフセット

各種印刷

**今道印刷**

〒602 京都市上京区天神筋一条下  
ル下堅町152  
電話(075)463-6024番

地域環境に調和した  
ユニークな都市創りをめざして

**会社金山工務店**

本社 大阪市東区内淡路町1丁目2番地  
電話 942-5461番(代)  
滋賀支店 滋賀県大津市皇子ヶ丘1丁目2-3  
電話 24-1816番(代)

## 信徒使徒職とは…………？

(五)

「家庭的な雰囲気の教会」という小教

区でも、初めて訪れた人々から「入り難い教会」という批判を受けています。

小教区の信徒がお互いにもつと親しくなると運動会やハイキングを催し、少しでも粗野な言葉があると、教会の雰囲気をこわす「信者らしくない」者と非難し、家庭的雰囲気を「キリストの共同体」であるかのように守っています。

このような状態は「キリストの共同体」とは全く正反対のものです。

私達人類は、神様から例外なく子として愛されています。私達は同じ父を持つ兄弟です。私達は一人一人、性格も考え方もみな違っています。違っていても互いに補い合い助け合っていけるのです。そこに入類の幸福があります。

聖書を開きますと、税吏、身体の不自由な人、罪を犯した人など、当時の人们から嫌われ差別されていた人々の中に、イエズス様を見出します。イエズス様は、この人々とのかかわりのため十子架上で殺されたのです。この人々をかけがえのない友として命をおかけになつたのです。イエズス様のかけがえのない友、それは私達にとってかけがえのない兄弟です。どうして「お前は要らない」といえるでしょうか。「信者らしくない」という言葉には、「お前は要らない

い」と同じ意味が含まれています。

「信者らしい」には、或る程度教養があり、或る程度社会的地位があり、といった何か優等生という感じがします。優等生ではない人は入り難いのです。

社会の至るところで受け入れてもらえない人が「此處こそ私の来る場所だつた」と思えるところ、それが「キリストの共同体」です。そんな人を受け入れたなら、教会は変な人が集るということだと世間の評判が悪くなり、世間的にいえば損なやり方かもしれません。しかし、隣人を優先して自分を後まわしにすることを損というならば、損をせずに隣人を愛することはできません。

イエズス様が特別に目を向けられた人々、社会から差別を受けている人々を、かけがえのない兄弟として迎えての人々と兄弟としてかかわる、これが「キリストの共同体」です。

部のことだけに目を向け、お互いに親しくなるようといふ運動会やハイキングをして、「キリストの共同体」としての真の親しさは決して生まれません。皆が心を合せて外に向って働きかけなければ、お互いに真の親しさは生まれないでしょう。

このような「キリストの共同体」をつくることが「前回まで述べた『生活による信仰のあかし』」ことばによる信仰のあかしと共に、信徒使徒職の二本柱の一つになつてゐています。

## 信徒使徒職

## 同和問題と私達

(最終回)

井上新二

全国の「同和」地区の所在地や世帯数を記載した「部落地名総鑑」など七種類の悪質な差別図書が、大企業の人事担当者や興信所に発売されていました。今回

更に、「一般家庭を対象とした差別図書が訪問販売されていることを御存知でしょうか。」と述べられています。また、「被差別部落の調べ方」と題する解説までが出来ればと此の度世情に逆行して本書を作製することに致しました。「原文のまま」と述べられています。また、「被差別部落の調べ方」と題する解説までが付けられた極めて悪質な差別図書です。

週刊誌大二百十六ページのこの差別図書が三十七万円もの値段で売られる背景は、何でしょうか。

「部落の人は乱暴だ」、「部落の人はこわい」という部落を悪と決めつける差別的予断と偏見、さらには「うちの子どもには、部落の人とだけは結婚させたくない」、「部落の人だけは会社に採用しない」といった偏見でしばしばされた私達の地獄的な状況から私達自身を解き放ち、私達に真に福音を傳らせ神の國建設者としての方針を示すものが「同和」問題に対する正しい認識とその実践の中にあると思えてならない。その意味で、「同和」問題に対する取り組みは、「同和」地区の人々のみを解放するものではなく、私達自身をも解放するものだということを終りに再確認したい。

し真にそうでしようか。私達の日常生活生き方の中に、差別図書を容認する何かがあるのではないでしようか。

「差別についてよく理解しているつもりですが、いざ結婚となると別ですね」という声をよく耳にします。この声は、本質的に部落差別を許し、助長するものです。

この声は、教会の外だけで聞かれるものでしょうか。残念ながらそうではないようです。神の愛、人への愛を語る同じ口から「同和」地区の人々に対する悪意に満ちた差別的な声が聞かれます。

のないこととすることは簡単です。しか

<p>学校法人 聖母女学院 募集人員 <b>聖母女学院短期大学</b> 児童教育学科 1回生 100名 <b>聖母学院 幼稚園</b> 1年保育(若干名)・2年保育(130名) <b>同 小学校</b> 1年生(男・女) 160名 <b>同 中学校</b> 1年生(女)約 130名 (内部進学約 70名を含む) <b>同 高等学校</b> 1年生(女)約10名(外部)・約120名(内部) 詳細は下記にお電話下さい。 〒612 京都市伏見区深草田谷町1 TEL (075)641-0507(代表)</p>	<p>エスコラピオス修道会 による男子のみの <b>中・高等学校</b> 三重県四日市市追分1-9-34 <b>海星中・高等学校</b> (TEL 0593-45-0036)</p>	<p><b>日星高等学校</b> 募集人員 普通科 130名(女子) 衛生看護科 40名(女子) 出願期日 54年2月6日~2月13日 試験日 2月16日(金) 科目 国・数・英・面接 舞鶴市上安久381 Tel 0773-75-0452</p>
		<p><b>メリノール女子学院</b> <b>中・高等学校</b></p>



クリスマス おめでとうございます  
子どもたちにカトリック教育を!

<p><b>暁星女子高等学校</b> 募集人員 普通科 約155名(女子) 出願期日 54年2月6日㊁~2月9日㊂ 試験日 2月15日(木) 試験科目 国・数・英・面接 宮津市字柳縄手303 TEL 07722-2-2560</p>	<p><b>セントヨゼフ女子学園</b> <b>中・高等学校</b> 入学試験日 中学 1月28日(日) 高校 2月9日(金) 三重県津市大字半田1330 TEL (0592)27-6465</p>	<p>学校法人 <b>ヴィアトール学園</b> <b>洛星中学校</b> 募集人員 男子 約190名 <b>洛星高等学校</b> 外部からの補欠募集の有無は、 54年3月1日以降問合せ下さい。 〒603 京都市北区小松原南町33 TEL 075(463)3281</p>
--	---	---

## 学校法人 ノートルダム女学院

女子大学 左京区下鴨南野々神町1番地 TEL 781-1173

高等学校 左京区鹿ヶ谷桜谷町110番地 TEL 771-0570

中学校 同 上

小学校 左京区下鴨南野々神町1番地2 TEL 701-7171

## 召命を考える練成会に

### 参加して

私はこの練成会に、二回とも参加させて頂き、また主の平和のなごやかさのうちに、過ごさせて頂き、ただ、感謝です。そして、参加するたびごとに感じることは、神の愛は、私達には気づきようもないような所でさえ、豊かに注がれているということでした。こうして同じ神を信じる多くの兄弟をこの練成会に導いてくださり、互いに祈ることのうちに召命について考えさせてくださる。またその色々な体験を聞くうちにこの一人一人の兄弟の歩む道に光を与え、それぞれふわわしい方へと導いておられると言うことを、強く感じました。

私はどもすると自分自身の考えにより行動しがちですがしかしやはり人の思いによらず、ただ神の望みの中に生きることは、神が示される召命の道のいずれにも言うことができると思います。

そして、次の言葉が思い浮かびます。マルコ十二十一の中に「持つてあるものをみな売り払つて、…そして、わたしに従つてきなさい。(このようにしてまでも神に向かう心、仕える心。)ルカ十・四十二の中に「良い方を選んだのだ;(このマルタとマリアにあるように「より良いもの」を与えるのではなく、より良いものを自ら選び取らせること。)私はあなたを呼んだ」と言うみ言葉にありますように、呼ばれていること、私達がおん父、神に向かうより先に呼んでおられる神、弱い私をも愛して下さっている神がいらっしゃると言うことを心の目に

止めていたいと思います。そしてすべてをゆだねてその愛に答えるながら、これから歩んで行こうとしている私の修道で頑張り、また主の平和のなごやかさのうちに、過ごさせて頂き、ただ、感謝です。そして、参加するたびごとに感じることは、神の愛は、私達には気づきようもないような所でさえ、豊かに注がれているということでした。こうして同じ神を信じる多くの兄弟をこの練成会に導いてくださり、互いに祈ることのうちに召命について考えさせてくださる。またその色々な体験を聞くうちにこの一人一人の兄弟の歩む道に光を与え、それぞれふわわしい方へと導いておられると言うことを、強く感じました。

十月一日、私共の教会で新しい許しの秘跡の式が行われるということで、グリーン神父様からそれについてのお話を聞いたり、いたいた参考プリントを読んだり、聖書を読んで黙想したり祈つたり、いろいろ準備しました。しかし、当日、その式に与るまでは正直なところ何か不安な気持ち拭い切れずにいたのですが、幸いその式に参加出来て、非常に大きなお恵みをいたゞくことが出来て本当に良かったと思いました。多数の神父様方がその為にご協力下さい、八木教会以外からも沢山のシスター、信者の方達がご参加下さい、お聖堂も狭い程で、聖霊の導きを祈る歌が大きくこだまし、皆の心が神に向つて一つとなり、共同体の一員として、この新しい許しの秘跡を受けることの喜びが式の間に次第に力強く湧き上つてくるのを覚えました。教会の殆どすべての部屋がその為に解放され、明るい光の下で「律法に基いて」ではなく、「神のみことはに基いて」聞かれた心で悔い改めの祈りを唱え、許しの手を両手で頭にいたゞいた時、不安も、また罪人としての打ちひしがれた暗い気持

(衣笠教会 安田浩子)

### 新しいゆるしの秘跡

十月一日、私共の教会で新しい許しの秘跡の式が行われるということで、グリ

ーン神父様からそれについてのお話を聞いたり、いたいた参考プリントを読んだり、聖書を読んで黙想したり祈つたり、いろいろ準備しました。しかし、当日、その式に与るまでは正直なところ何か不安な気持ち拭い切れずにいたのですが、幸いその式に参加出来て、非常に大きなお恵みをいたゞくことが出来て本当に良かったと思いました。多数の神父様方がその為にご協力下さい、八木教会以外からも沢山のシスター、信者の方達がご参加下さい、お聖堂も狭い程で、聖霊の導きを祈る歌が大きくこだまし、皆の心が神に向つて一つとなり、共同体の一員として、この新しい許しの秘跡を受けることの喜びが式の間に次第に力強く湧き上つてくるのを覚えました。教会の殆どすべての部屋がその為に解放され、明るい光の下で「律法に基いて」ではなく、「神のみことはに基いて」聞かれた心で悔い改めの祈りを唱え、許しの手を両手で頭にいたゞいた時、不安も、また罪人としての打ちひしがれた暗い気持

ていた聖霊刷新の集いや、プレヤーミー・ティングも役立つたと思いました。

(八木教会 森田千寿)

この欄では、読者の皆さんのが自由な御意見を求めています。教会での出来事、生活の中で印象に残ったことなども結構です。また時報文芸では、和歌、俳句、詩を紹介します。

（西陣教会 村田恵治）

位前からなんの予告もなしに、松田神父様から御ミサの中で、「西陣教会のみんなを昼食会に招待いたします。」とのお知らせに、私達信徒一同、とくに大人の人達は突然の招待にびっくりさせられた



### 富沢司教と昼食会

十月八日富沢司教様と昼食会、三週間

位前からなんの予告もなしに、松田神父様から御ミサの中で、「西陣教会のみんなを昼食会に招待いたします。」とのお

などもそこには無く、本当に幸せな、神の子としての喜びがそこにあり、感激で一杯でした。その後に続くミサで歌うじながら、日々新しく変えられますようにと勵んで行きたいと、思います。

（西陣教会 村田恵治）

連絡協議会(信徒会)にかけ、どんな予算でどんな昼食会をとみんなで意見が、わざと出て議長が困っている時、松田神父様が一通の手紙をもってこられました。お金と一緒にいらして下さいといふ司教様の手紙、突然にびっくりさせられ突然にぎやかにされ、突然に解決しました。

そして十月八日御ミサの司教様の説教いや説教というより、うつりゆく教会の説明でした。たんたんと語られ、わかりやすく、これからどうやるべきか等といふ事です。昼食会には西陣教会十人で、百名位集まり、司教様の森繁調の知床旅情がでて楽しい昼食会がありました。

子供と青年の若者達と気良く写真をとられる等、想像がつきませんでした。私達青年と子供達に司教様がわかるはずがないかもしれません。ただ今後の活躍をお祈りしております。

## 京都教区時報

英

生え (九)

## 左座義文

## —京都教区五十年を振り返って

私の宣教時代で心に残っていることをと困るとのことで私は謝礼のことなど考へと、二、三つけ加わえましょう。

ある夏のこと、本願寺関係の全国のお坊さん達の研修会で講演を頼まれました。佛教の修練を積んでいるお坊さん達に一體どんな風に話したら良いかと、とまどいながらも、キリスト教精神を伝える絶好なチャンスと思い承諾しました。

当日会場に入ると大きな本堂に墨染の衣の年配のお坊さんたちが足を組んで、静かに私の話を待っているのです。聞いて見ると、この研修会は指導者達のものだということです。大勢の僧侶達を前に私は、神の存在、普遍性、永遠の生命について順々に説いていました。夏の暑さなかにもかかわらず、誰も居眠りする人もなく、皆非常に熱心に、真剣にメモを取りながら聞くのでした。その熱意に押され私は時のたのも忘れており、気がつくともう約束の時間が過ぎています。

しかし私はまだ話さなければならぬ事が沢山残っています。この様な場所で話すこと等、これからもそうめつたにあるものではありません。それで、係りの人にもう少し話を続けても良いかとたずねると、困った顔をしています。良く聞いてみると謝礼の関係で時間が多くなる

とてもいなかったので時間を一時間も延長して話してしまいました。お坊さん達も十分話が聴けたと喜んでくれました。今考えて見ると、戦後初めてキリスト教の教えが広く一般に知られるようになつた訳で、神の存在、キリストの託身、永遠の生命という深遠な思想に触れるこ

とも十数年も経つのです。それでも身体をしこたま打ち伸びられません。そんな事故で予定の時間に相当遅れで山国についたのはもう夕方でした。痛い足を気遣かせない様にしてさつそく話を始めました。研修はお寺で行われておりますで、神の存在、キリストの託身、永



い30名ほどの青年達が私の話を熱心に聞いてくれました。ここでもキリスト教との出会いはまったくはじめてで、講話の時間が過ぎた後も、もつと話してくれと頼まれ、ぎきぎきとする全身の痛みと戦いながら夜中の12時過ぎまで話し合いました。この研修会を機に北桑田郡の青年達は敗戦の日本を救うのはカトリックの教えしかないと言がまとまり、自分達でカトリックの研究会を始め、イエズス会とう名の青年団を結成するまで发展してきました。これが宇津、山国に教会が設立する基礎となつたのです。その後メソード会のバロン神父様がこの地域を司牧され、人々に福音を宣べながら、特に小学校を出たばかりの少女達を伝導婦として教育し、彼女達もその一幕で宣教に協力する等、カトリックは広く知られる様になり、後に園部教会が設立される所にはどこにでも出かけました。ある時京都から十里程山奥に入った山国村の青年団から講演を頼まれました。当

(題字も古屋司教)  
つづく

カトリックに關係のない若者達に話すのは良いチャンスと出かけました。十里の道を自転車で行くのは、大変でしたが、仲々楽しいものでした。ところがだいぶ行つた所で前から材木を積んだ大型トラックをよけようとして、雨上がりの道に足を取られ自転車もろとも倒れてしまい



時報が対話  
手段なら  
ば「互いに  
心を開けあ  
う」と書く  
者も読む者  
も、投稿者  
も編集者も。

- ◆山の端が茜色と鳥羽色のコントラストを見せます。“黄昏”という言葉が似合うようになつた夕暮時。北風もすいぶんといじわるになつてきました。
- ◆私が始めて教会に行つた日、クリスマス、牧師さんがみんなに赤いリングを下さった。戦後の物資不足の中小学生にとってこのリングはすばらしいプレゼント！ リングに魅かれてこの方、幼児イエズスの贈物の意味をよくわかりかけてきたこの頃（昭和30年）
- ◆国際的にも教区レベルでも今年は大きなニュースの多かつたこと／編集部運命共同体もそれなりに頑張りました。
- ◆地区的皆さん、恵み多いクリスマスと希望に満ちた新年をお迎え下さい（Y）
- ◆だんだん寒くなります。身のまわりも寒くなります。心も寒くならないように。（M.T.）
- ◆人通りの絶えた御池通り。枯葉が靴音に合わせて踊っている。梢の彼方には澄んだカシオペアが光っている。親しい友と黙つて飲み明かしたい季節（き）（お断り）今回は“小教区の貞”を休ませていただきました。